

はじめに



本市は、古くから交通の要衝として栄え、商業・業務、行政、教育、文化など様々な都市機能を集積しながら発展してきました。

現在、本市を取り巻く環境は大きな変革期にあり、超高齢社会の到来、今後直面する人口減少社会、さらには高度経済成長期に整備したインフラの老朽化や地球環境問題など複合する難しい課題への確に対応しながら、都市の活力の維持、一層の発展を目指していかねばなりません。

このようなことから、私は、「水戸市第6次総合計画―みと魁プラン―」において、都市空間整備の基本的な考え方として「魅力・活力集積型 スマート・エコシティ」の構築を標榜し、これまでの拡散型の開発志向から、集積型の持続可能な都市構造への転換を図り、コンパクトなまちを展望した住む人に優しいスマートでエコな先進都市づくりを推進していくこととしたところです。

この都市構造を実現するためには、過度に自家用車に依存するライフスタイルを見直し、人と環境にやさしい交通体系の確立に向け、公共交通や自転車を利用しやすい環境整備とともに、その利用促進に資する政策を総合的かつ戦略的に展開することが必要です。

平成26年4月には、水戸市自転車利用環境整備審議会を設置し、安全で快適な自転車通行空間のあり方や整備手法等について検討を重ねながら、「水戸市自転車利用環境整備計画」の策定に取り組んでまいりました。

計画の策定に当たりましては、自転車利用に関する市民アンケート調査を行うなど、市民ニーズの把握に努めるとともに、水戸市自転車利用環境整備審議会で活発な御議論をいただきました。また、本計画の素案に係る意見公募手続では、市民の皆様から多くの御意見をいただいたところであり、御協力をいただきました方々に心から厚くお礼申し上げます。

本計画に位置付けた施策を実施するうえでは、市民の皆様や関係行政機関の御理解と御協力が不可欠となります。安全で快適な自転車通行空間を整備し、自転車の利便性や歩行者の安全性の向上を図ることで、本市の魅力と活力をより一層高めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、御協力をよろしくお願いいたします。

平成29年3月

水戸市長 高橋 靖